

2007年度 第2回 私立大学図書館協会
阪神地区相互利用担当者連絡会議事要録

日時： 2007年11月29日(木) 14:00～16:00
場所： 関西福祉科学大学 学園本館6階 視聴覚教室
出席者： 56館 62名

挨拶： 関西福祉科学大学図書館 館長 伊藤 一雄
司会： 関西福祉科学大学図書館 課長 田原 里香子

議事に入る前に資料の確認があり、出席者名簿についての変更の連絡があった。

関西国際大学 神沢 俊恵 藪本 麻紀子

1. 連絡事項

(1) 新規加盟校の紹介

新規加盟3校のうち出席の2校から挨拶があった。

近大姫路大学 神戸夙川学院大学 神戸ファッション造形大学

(2) 阪神地区分担保存誌一覧の協議会ホームページ掲載について

配布資料に従ってホームページ掲載項目を確認した。

(3) 分担保存誌調査について

1月中旬に調査を行う旨、確認した。

(4) 相互利用MLのエラーアドレスについて

相互利用MLにて送信するとサーバーよりエラー返信されるメールアドレスが1件あり、各館に確認を依頼した。

(5) オーストラリア・ライブラリー開設にともなう資料の相互貸借について

追手門学院大学より、正式開館までは自館OPACで検索可能になった時点から貸借ができる旨、説明があった。

2. 報告事項

・現物貸借における注意喚起について

2007年度第1回連絡会にて問題提起のあった、現物貸借における資料の紛失・管理体制の不備への対処を受けて、阪神地区運営委員会において協議を行い、注意喚起のための書式案を作成した旨報告があり、書式案の運用方法を確認した。書式の改変、使用は各

館の判断に委ねるが、阪神地区で注意喚起に取り組んでいるという実績を作っていくために、利用してほしい旨、幹事校より説明があった。

3. 承合事項

事前に提出された承合事項についてアンケート形式で調査し、まとめた結果を当日の資料として配布した。

・視聴覚資料利用目的の訪問利用について

趣旨説明の後、訪問を受付けていない館の理由について意見を交換した。資料ごとの著作権処理済の確認が煩雑である、N I Iに未登録のものは受付しない等が理由として挙げられた。

その他

(1) 著作権問題と相互利用について

多数の著者による論文集が図書として刊行されている場合は1論文の全部を複写することは判例で認められていない。その場合の対応事例について意見を交換した。

(2) 価格高騰に伴う、洋雑誌の分担保存について

近年の洋雑誌価格高騰を受けて、購入分担の提案があった。個別の事情や費用負担、継続購入等の問題が予想され、また阪神地区だけでは規模が小さくなることもあり、実現は難しいとの意見があった。

(3) I L L 料金支払いの相殺制度加盟に伴う学内調整について

相殺制度加盟・運用に伴う学内の財務・経理関係部署との調整について質問があり、相殺参加館から事例の報告があった。

(4) 図書館以外の団体への郵送貸出について

事例報告を受け、図書館以外の団体へ郵送貸出を実施している館から現状の報告があった。また、相互利用の貸借では資料の利用を相手館の館内に限っているため、相手先が図書館(室)でない場合、対応が難しいとの意見があった。

4. 次期阪神地区相互利用運営幹事校の紹介

次期幹事校の神戸国際大学から挨拶があった。

以上